

## 指定管理者制度 導入判定基準 チェックシート

【施設名：丹波市立文化ホール】

チェック項目	判定項目	判定の視点	判定		所管課意見
チェック1	市が管理運営すべき施設か？	①公の施設として管理運営すべき施設である。 (公共施設としての必要性がある。)	○	○	文化ホールは市の文化芸術推進基本計画に定める事業の中核を担う施設であり、今後も公共施設として管理運営すべき施設である。 また、施設の業務内容及び設置目的から、指定管理施設として、民間事業者のノウハウを活用して管理するのがふさわしい施設である。
		②公平性や公益性が極めて高い等の理由や本市の施策上の制限がなく、指定管理者制度の導入が可能である。	○		
		③法令の制約及び業務の専門性・特殊性から特段制限がなく、指定管理者制度の導入が可能である。	○		
チェック2	指定管理者制度の導入により、施設の安定性・継続性が確保できるか？	①同種のサービスを提供している民間事業者等が存在する。	○	○	公立の文化ホールは、近隣自治体でも指定管理施設として管理させている実績がある。指定管理施設とすることで、民間事業者のノウハウを活用するとともに、市民参画による一層の文化芸術事業の推進が期待できる。 なお、受託業者は文化芸術推進基本計画に定める市民参画型のホール事業の推進にあたり、市民のオペレーター団体による運営がふさわしい。
		②他の自治体において導入している実績がある場合など対象サービスを安定的・継続的に提供できる民間事業者等が存在する。	○		
		③民間事業者等に任ずことで、利用ニーズにあったサービス内容の充実や民間事業者等のノウハウの活用が期待できる。	○		
チェック3	指定管理者制度の導入により、費用対効果が確保できるか？	①民間事業者等の有するノウハウの活用や創意工夫によりコスト削減が図れる。	○	○	指定管理施設とすることで、民間事業者ならではの柔軟な対応ができることから、コストの削減が期待できる。しかし、利用料金のみでは運営が難しいことから、指定管理料による補填が必要である。
		②市が直接管理運営する場合と同等の費用であってもより大きい効果が見込まれる。	○		
		③税負担ではなく使用料・利用料金により運営を行うことができる。	○		
指定管理者制度導入判定		(委員コメント) 指定管理者制度の導入が適当と認める	○		(見直し等の場合、時期について記載)

**【判定基準】**

- ：判定の視点について、基準を満たしている。
- △：判定の視点について、基準に近いが、改善の余地がある。
- ×：判定の視点について、基準を全く満たしていない。